

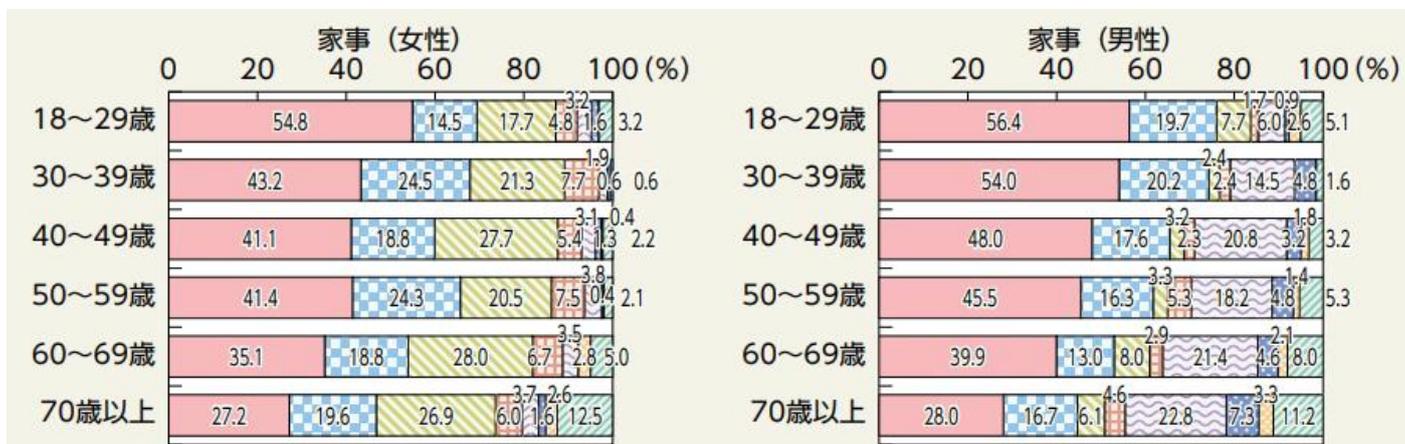


家事の分担どうしていますか？

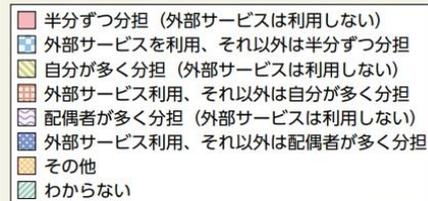
～大掃除を前に考えてみましょう～

早いもので、2022年もあと残すところ1か月となりました。皆さん、年末にかけて、大掃除や年賀状、その他にも様々なイベントで忙しい日々を迎えますね。それとともに、家で過ごす時間も長くなるのではないのでしょうか。今回は、家庭内の家事の分担について考えます。

「あなたは家庭で担われている役割について、配偶者とのように分担したいですか？」



出典：「令和4年版 男女共同参画白書」



性別を問わず、若い世代ほど、配偶者と家事を分担したいという意識が強いことが伺えます (ピンク部分)。

しかし、女性では「自分が多く負担 (黄緑部分)」と、男性では「配偶者が多く負担 (紫部分)」が反比例するかのようになっていて、依然として「家事は女性がするもの」という風潮が根強いことがわかります。

年末の大掃除や家族で迎えるお歳取り・新年の準備など、これを機会に家族みんなで分担のあり方を考えてみてください。

皆がどんな家事でもできれば、病気やケガ、長期出張など、何があっても慌てずに対応することができますよ！



3年ぶり
開催！

男女共同参画を進める市民のつどい・まつもと
講演会「地方を元気にする女性の政治参画～ジェンダー平等の視点から～」

日時：12月19日(月) 13:30～15:30

場所：Mウイング6階ホール

講師：上智大学法学部教授 三浦まりさん

その他：入場料無料、要約筆記あり、託児あり (無料)

申込：電話、メール、右下の専用フォームより

※電話、メールは裏面に記載しています。



ジェンダー平等の扉を開いた偉人紹介

Vol.5

ジェンダー平等に尽力した日本の偉人をご紹介します

広岡 浅子 (1849~1919)

実業家。

京都の豪商の娘として何不自由なく暮らしていたが、当時は女性に学問が許されず、勉強好きだった浅子は反骨心を抱いた。

その後、嫁ぎ先の事業で手腕を発揮し、炭鉱事業、銀行、生命保険事業に当時としてはいち早く着手し、成功を収めた。日本女子大学の設立にも奔走し、開校を実現させた。



今月知っておきたい言葉

L字カーブ

女性の正規雇用比率を折れ線グラフで年齢階級別にした時に、20代後半をピークに、その後は右肩下がりになる現象のこと。Lを右に45度傾けた形になることから、こう言われる。

少し前まではM字カーブが問題と言われていたが、政府の女性活躍推進の取組みにより、現在は解消されつつある。今後は女性の正規雇用の継続が焦点となりそうだ。



新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあります。どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。



『デュアルキャリア・カップル』

(ジェニファー・ペトリリエリ著、英治出版、2022年)

カップルそれぞれのキャリアも、2人の人生も諦めないためにはどうしたらいいのか。世界中のカップルを調査することで発見した3つの転換点に対し、私たちが困難を乗り越える方法がまとめられています。

『人は愛するに足り、真心は信するに足る』

(中村哲・澤地久枝著、岩波書店、2021年)

3年前の12月、突然、武装勢力に命を奪われた中村医師。普段あまり自分のことを語らない中村医師が、その生い立ちやアフガニスタンでの医療・復興事業を行う意味、想いを語った貴重な一冊です。



このニュースレターは、松本市公式ホームページでも見ることができます。

Facebook、Twitter もやっています！

松本市女性センター



<編集・発行>

松本市 人権共生課 (松本市女性センター)

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 / FAX 0263-37-1153

✉ kyousei@city.matsumoto.lg.jp